

個別施策の優先順位とその考え方は？

市長が掲げる七つの政策



佐々木 充 議員
西条自民クラブ



問

企業誘致、高等教育研究センターの開設、医療体制の拡充、教育施設のICT化、福祉人材の育成など、いずれも重要性が高いテーマであるが、これらにどう優先順位を付け、どの分野を重点的に取り組んでいくのか。

答

七つの政策は、いずれも市民の生活や地域の発展にとって非常に重要なものであり、それぞれの政策は独立しているわけではなく、相互に影響し合いながら地域全体の発展を目指していることから、個別施策の優先順位を明確に定めることは難しく、総合的な視点で取り組むことが重要であると考えている。

今後、これらの施策をバランスよく推進し、市民の皆様が安心して暮らせる地域づくりに努めていきたい。

避難所対応における

今後の課題と改善策は？



森川 亜紀 議員
西条自民クラブ



問

令和7年3月に発生した治市林野火災において、本市では避難指示が発令され、福祉避難所が開設されたが、今後の課題及び改善策をどのように考えるのか。

答

福祉避難所については、福祉センターを含む市内七つの公共施設を指定しているが、その環境は本来の福祉施設とは異なるもので、要配慮者が長期間滞在することは心身への負担となる。そのため、要配慮者のための環境が整っている民間の福祉施設への避難が望ましいと考えている。既に、本市は19法人と災害時等における福祉避難所の設置・運営に関する協定を締結しており、今後は、こうした協定をできるだけ活用するとともに、福祉避難所の設置・運営に必要な備蓄物資の整備に努めるほか、総合防災訓練における避難所開設訓練の実施などに取り組みたい。

南海トラフ巨大地震に備え

地域防災拠点などの充実・強化を！



伊藤 良二 議員
西条自民クラブ



問

夜間に南海トラフ巨大地震が発生し、電源喪失により真っ暗闇で避難する場面に備え、避難路にソーラー式照明などを整備すべきではないか。また、市長は禎瑞地区へ災害対応型の道の駅整備を表明していたが、今後、どう取り組む考えか。

答

夜間停電時に安全に避難するためのソーラー式照明などについては、現時点で設置する考えはないが、先進自治体の取組などを注視しつつ検討したい。

また、禎瑞地区への災害救助避難施設を兼ねた道の駅の整備は、防災・減災対策として一定の効果は期待できるが、海拔ゼロメートル地域への立地が適当かとの懸念もある。このため、まず急ぐべきは、浸水防止のための海岸保全施設の整備であると考え、国・県に整備の要望活動を行っていきたい。